児童に見られるつまずき

　提案内容を分析・吟味して書くことを決め、効果的な構成で提案書を書くことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　専門チームに分かれて分析したことを元グループに持ち寄り吟味し直す活動を通して、新たな視点から分析したことを取り入れながら自分達の提案内容を吟味できるようにする。

指導事例集ｐ．３９

１　学年・単元名　　第５学年　提案書を書いて、班のつどいを『超変革』！

　　　　　　　　　　　『明日をつくるわたしたち』（書くこと）

２　単元目標

　　問題点と関係づけて、提案内容を分析・吟味することができる。

３　単元の内容（全１１時間）

　・これまでの班のつどいの問題点を共有する。

　・問題を解決できる提案内容をグループで考える。

　・提案内容を観点別に分かれたグループ専門チームで分析し、その後、元のグループで吟味する。

　・提案書を効果的な構成で書く。

参考：本時の板書、授業風景

４　本時の目標（第２次２時間目）

１　３年生にリーフレットを披露し、感想を聞く。また、単元の学習をふり返る。

　・担当する視点から、例示された提案内容を分析できる。（書くア・カ）

　・分析したことをもとに提案内容を吟味し、理由をつけて結論を出すことができる。（書くア・カ）

５　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学　習　活　動 | 指　導・支　援  **太字：つまずきに対する手立て** |
|
| １　３つの視点に分かれて例示された提案内容「大あらし」について分析し、その分析結果をもとにチームで結論を出すという本時の流れを確認する。  **「大あらし」は提案内容として○か×か、そのエキスパートにしか見つけられない理由を考えよう。**  ２　「大あらし」は提案内容として○か×か、そのエキスパートならではの理由を出し合い、分析する。（エキスパート会議）  参考：授業風景  **エキスパート会議をもとに、「大あらし」は提案内容として○か×か、理由をつけて決定しよう。**  ３　チームに戻り、分析結果をもとに「大あらし」は提案内容として○か×か、理由をつけて話し合う。  チームで結論を出し、最も重要だと思う理由をホワイトボードに端的に記入する。（ホームグループ会議）  　黒板の表の中で、最も自分たちの結論にふさわしい位置にホワイトボードを貼る。  参考：本時の板書  　チームごとの結論を知り、特に詳しく理由が聞きたいものについて質問したり、それについて反論したりして、意見を交換する。  ４　１つの提案に限っても、３つの視点から分析すると、○にも×にも結論づけられることを知り、次時の学習へつなげる。 | ・前時に書いた自分の分析を、エキスパート会議（担当の視点ごとの話し合い）でさらに深め、チームに持ち帰って結論を出すという流れを確認する。自分たちの提案書をよりよくする方法を学ぶための時間であることも確認する。  ・３つの視点ごとに集まって座っていることを確認し、それぞれの分析のポイントも確認する。  　【３つの視点】  Ａ：１～４年生の立場  Ｂ：運営するリーダーの立場  Ｃ：６年生の立場  **・そのエキスパートならではの分析結果を集められるように声をかけておく。**  **・その視点ならではのことが話し合えている児童に価値付けをしながら、机間指導をする。**  ・友だちの発言でよい意見があれば、ワークシートに書き加えてよいことを伝える。  **・「大あらし」は提案内容として○か×か話し合い、理由をつけて決定することを確認する。**  **・理由の中にどの視点が盛り込まれているのか、確認することで、３つの視点を意識しながら結論を出せるようにする。**  ・最も重要だと思う理由をシンプルにまとめ、ホワイトボードに書かせる。  **・黒板には表で○と×のスペースをつくり、ホワイトボードを貼る位置についても考えさせる。**迷うチームについては、○と×の間に位置付けてもよいことを伝える。  ・板書の見方について、少し確認の時間をとる。  **・理由を聞いてみたいチームへの質問をさせる。特に、結論が逆となったチーム同士で質問のし合いができるようにする。**  ・質問やそれについての答えを聞いていて、反論がしたくなった児童を認め、様々な意見が聞き合えるようにする。  ・３色のマグネットを貼り分けることで、結論にどの視点が盛り込まれているのかが視覚的に分かるようにする。  【３色のマグネット】  赤：Ａ（１～４年生の立場）  黄：Ｂ（運営するリーダーの立場）  青：Ｃ（６年生の立場）  ・１つの提案でも、３つの視点から分析するとこれだけ様々な考えができ、それが読み手を納得させる理由につながっていくことを伝える。（まとめるのではなく、教師が率直に反応する。）  ・本時の学びを、次時の自分たちの提案を見直す際に役立てられることを知らせる。 |

６　評価規準

・その視点ならではの理由を見つけて、書いたり発言したりしている。

・理由の中で最も重要だと思うものを決めて、黒板の適切な場所に貼り、３つの視点をふまえて理由を発言している。

・その視点から分かる理由を見つけて、書いたり発言したりしている。

・理由の中で最も重要だと思うものを決めて、黒板の適切な場所に貼り、理由を発言している。

・「大あらし」のよさや問題点を見つけて、書いたり発言したりしている。

　・理由の中で最も重要だと思うものを決めて、黒板の適切な場所に貼っている。